

令和元年度「県立学校による地域との協働推進事業」実施報告書

番号	⑨	学校名	西和養護学校
----	---	-----	--------

1. 取組名 『桜ヶ丘・下牧地区、美化つながりプロジェクト』

2. 活動内容

職業科の「流通サービス」の授業では、清掃活動や、地場品である靴下の端布を使った手作り品「椅子脚カバー」「アクリルタワシ」と「ラベンダーポプリ」の制作に取り組んでいる。清掃活動では、清掃用具の扱い方や、作業に取り組む態度を校内で学び、実習として上牧幼稚園に出向き、清掃を行った。また、学校周辺の桜ヶ丘地区と下牧地区の落ち葉の清掃活動を実施した。地場品である靴下の端布を使った手作り品「椅子脚カバー」「アクリルタワシ」と「ラベンダーポプリ」の制作に取り組んでいる。地域のコミュニティセンター「桜ヶ丘憩いの家」をお借りして、学校で取り組んでいる「ラベンダーポプリ」の制作活動を地域の方と一緒にに行った。制作活動を通じて、本校の高等部の生徒が地域の住民の方々と交流する取り組みは今年で2年目である。



3. 成果と課題

幼稚園への清掃実習では、先生方との打ち合わせから生徒が行うことで、当日も含めて主体的に活動に取り組むことができた。「最初に門を入るときは緊張したけれど、子供たちと挨拶したら大丈夫だった。楽しかった。」との感想が聞かれ、地域に貢献しながら学びを得られる機会となった。



「憩いの家」をお借りすることで地域の方との本校の生徒が交流できたことは貴重な体験であった。地域も毎年高齢化が進んでいるが、本校の高等部の生徒との交流が地域のお年寄りの方の励みになり、そのことで地域の活動が一層活発化することについて好意的に感じていただいている。本校にとっても地域と繋がり、さらに密接な関係を築いていくことが期待されている。

4. 次年度に向けて（担当者の感想を含む）

上牧幼稚園や、地域住民との交流を途切れることなく続けることが重要である。そのために生徒自身でお礼の手紙を書くなど、一人一人の気持ちを大切にしたい取り組みを今後もしていきたいと考える。

また、上牧幼稚園については本年度から1，2年同時に活動を行った。そのため「指示を送る・仰ぐ」「報告する」など先輩後輩の意識の芽生えを感じられる清掃実習となった。次年度についても、よりつながりを深めるように実施していきたい。